学校番号	３０２６

令和８年度　グローバル探究科

教科	(学)グローバル探究科	科目	(学)IB 生物 SL	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	Oxford Resources for IB DP Biology: Course Book						
副教材等	ワークブックで学ぶ生物学の基礎（Ohmusha） ワークブックで学ぶ生物学実験(Ohmusha)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物の授業では、生命現象を理解するために、細胞や遺伝子、生態系などについて学習します。生徒は、科学的な概念をより広い世界と結びつけることが重要であり、進化や環境問題、生命倫理など、生物学の進歩が社会に与える影響についても学びます。HL の学生は、各トピックの詳細な解明に取り組むことが求められ、独自の研究を行うこともあります。また、実験を通じて科学的な思考力や実験技術を身に付け、安全な実験を行うためのリスク評価能力を習得します。生物学は、私たちの生活や環境に深く関わる重要な科学分野であり、生徒はその価値を理解し、将来に活かすことが期待されています。

2　学習の到達目標

生物学に関する事実、概念、手法について、十分な知識や理解を示すこと。
学んだことを現実世界で応用し、問題を解決する能力を身につけること。
研究やデータを分析し、評価することができるようになること。
研究を適切に行うために必要な実験スキルを身につけること。
安全かつ適切な実験を行うために、リスク評価能力を習得すること。
生物学の進歩が社会に与える影響や、倫理的な問題について考えること。

3　評価の観点及びその趣旨

国際バカロレアの評価基準を元に作成しました。

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

学習の進捗に応じて、短文・長文解答演習、研究レポート、協働復習プロジェクト、模擬試験、データ冊子によるレポート、データ分析、短文解答練習などを用いて評価を行い、学期末には 5 段階評定にまとめます。これにより、生徒たちが自分の学習の進捗を理解し、成長を促進することができます。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	相互作用と相互依存	代謝 呼吸 光合成 神経シグナル伝達 身体システム 免疫 個体群と群集 エネルギーと物質	a:重要概念の知識を説明できる b:論文等をベースにしたデータの読み取りができ、またその表現ができる。 c:授業の復習のレポート課題	選択肢問題	論文等を元にした記述式問題。	レポート
	連続性と変化	DNA の複製 タンパク質合成 突然変異 細胞と核分裂 水ポテンシャル 生殖 遺伝 恒常性 自然選択 安定性と変化 気候変動	a:重要概念の知識を説明できる b:論文等をベースにしたデータの読み取りができ、またその表現ができる。 c:授業の復習のレポート課題	選択肢問題	論文等を元にした記述式問題。	レポート
2	総復習	これまでの学習内容全ての演習	a:選択肢問題 b:論文をベースにした記述問題	選択肢問題	論文等を元にした記述式問題。	課題
3	個人研究		a:実験計画を立てることができる b:実験することができる c:レポートを書くことができる	口頭試問 課題	実技試験	実験計画 レポート プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度